

算定方法等

分類	指 標	算定方法・定義	指標及びデータの出典	調査時点・期間	備 考
基礎	人口	区又は学区の常住人口	平成22年国勢調査	平成22年10月1日	学区別面積については、本市独自推計
	人口自然増減 世帯 面積	出生数－死亡数 住居と生計を共にしている人々の集まり 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」	平成24年愛知県人口動向調査 〃 平成23年全国都道府県市区町村別面積調	平成23年10月1日～平成24年9月30日 平成24年4月1日 平成23年10月1日	
人口・住まい	1 人口密度	人口÷面積			人口は平成24年4月1日の推計人口を使用 県外転入人口は、愛知県外から区又は学区に転入してきた人口 県外転出人口は、愛知県外へ区又は学区から転出した人口 学区別屋間人口は算出できないため「－」とした 単独世帯とは、世帯人員が1人の一般世帯 一般世帯とは、病院や社会施設の入院者などの「施設等の世帯」以外の世帯（以下、同じ） 核家族世帯とは、「夫婦のみ」、「夫婦と子供」又は「ひとり親と子供」からなる一般世帯 高齢単身世帯とは、65歳以上の者一人のみの一般世帯 高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦一組のみの一般世帯 住宅に住む一般世帯とは、独立して家庭生活を営むことができる永続性のある建物に住む一般世帯 持ち家に住む一般世帯とは、世帯が所有する住居に居住する一般世帯 区政協力委員受け持ち世帯数は、任期となる2年毎の一斉改選時のみ算出 診療所は歯科診療所を除く。人口は平成24年4月1日の推計人口を使用（以下、同じ） 事業所が商品を販売するために実際に使用している延床面積。ただし、ガソリンスタンド、新聞小売業始め6種の事業所については売場面積の調査を行っていない 学区別事業所数は算出できないため「－」とした 観測点がない場合、その学区は「－」とした 毎年11月1日を基準日として、水準測量を行い、前年度と比較して変動量を算出 観測点がない学区あたり2点以上ある場合は、地盤変動量の平均値を算出して、学区の地盤変動量とした 学区に振り分けることができない公害苦情は、各区の総計に計上した
	2 県外転入人口比率	県外転入人口÷人口×100	平成24年愛知県人口動向調査(県外転入人口)	平成23年10月1日～平成24年9月30日	
	3 県外転出	〃	〃 (県外転出人口)	〃	
	4 昼夜間	〃	〃	〃	
	5 15歳未満	〃	〃 (15歳未満の人口)	〃	
	6 65歳以上	〃	〃 (65歳以上の人口)	〃	
	7 外国人	〃	〃 (外国人人口)	〃	
	8 単独世帯比率	〃	〃 (単独世帯数)	〃	
	9 核家族	〃	〃 (核家族世帯数)	〃	
	10 高齢単身	〃	〃 (高齢単身世帯数)	〃	
	11 高齢夫婦	〃	〃 (高齢夫婦世帯数)	〃	
	12 持ち家	〃	〃 (住宅に住む一般世帯数、持ち家に住む一般世帯数)	〃	
	13 町内会推計加入率	〃	〃	〃	
	14 病院・診療所数	〃	〃	〃	
	15 歯科病院・診療所数	〃	〃	〃	
	16 小売業商店数	〃	〃	〃	
	17 小売業売場面積	〃	〃	〃	
	18 事業所数	〃	〃	〃	
	19 地盤沈下量	〃	〃	〃	
20 公害指導件数	〃	〃	〃		
安心・安全	21 刑法犯認知件数	〃	〃	〃	各区件数には、管轄警察署が発生地不明分(国外などで発生)を計上したものを含む 平成23年度名古屋市防犯灯電料補助灯数 緑被地とは、樹木や芝などの緑に覆われた土地、農地及び水面をいう 面積は平成24年4月1日推計人口を使用 学区別交通事故発生件数はデータがないため「－」とした 名古屋市の件数は水上及び市外への出勤を含む。港区の件数は水上への出勤を含む 〃
	22 防犯灯数	〃	〃	〃	
	23 交通事故発生件数	〃	〃	〃	
	24 救急出動件数	〃	〃	〃	
	25 救助出動件数	〃	〃	〃	
	26 火災発生件数	〃	〃	〃	
土地利用	27 小公園等面積	〃	〃	〃	小公園等とは、住区基幹公園、どんぐりひろば及び児童遊園地をいう 住区基幹公園とは、都市公園種別の街区公園・近隣公園・地区公園をいう 中村区本陣・則武・亀島学区の小学校地面積・児童数は、ほのか小学校の値を使用 中村区新明・六反学区の小学校地面積は笹島小学校（笹島中学校を含む）、児童数は笹島小学校の値を使用 面積は、住宅用地、工業用地、商業用地、未利用地、その他利用地の合計面積（以下、同じ） 中村区本陣、則武、亀島学区は、3学区合わせて算出しているため、3学区とも同じ値を掲載 緑区鳴海東部、小坂、常安学区は、3学区合わせて算出しているため、3学区とも同じ値を掲載 中村区本陣、則武、亀島学区は、3学区合わせて算出しているため、3学区とも同じ値を掲載（以下、同じ） 非建築地とは、空閑地、駐車場、材料置場、農地、山林等をいう 上記以外の用地とは、官公庁、教育、医療、養護、風俗・興行娯楽、宗教・文化、運輸・供給、公園・緑地、道路、水面、鉄道の各用地をいう
	28 小学校地面積	〃	〃	〃	
	29 公園等面積率	〃	〃	〃	
	30 緑被率	〃	〃	〃	
	31 住宅用地率	〃	〃	〃	
	32 工業用地率	〃	〃	〃	
	33 商業用地率	〃	〃	〃	
	34 非建築地率	〃	〃	〃	
	35 その他土地利用	〃	〃	〃	

注1：4、19、29～35の指標を除く各指標は、各出典のデータを元に地域振興課で値を作成

注2：指標及びデータの出典欄の括弧書きは、各指標の算出に用いたデータを示す

注3：港区福春学区は、平成20年4月1日に福田学区から分割されたため、16、17、29～35の指標は福田学区のものを掲載

注4：守山区吉根学区は、平成19年4月1日に志段味西学区から分割されたため、29～35の指標は志段味西学区のものを掲載

注5：守山区下志段味学区は、平成24年4月1日に志段味西学区から分割されたため、5～12、16～18、29～35の指標は、志段味西学区のものを掲載

また、20～26は、下志段味学区の件数が志段味西学区に含まれているため、両学区の人口(22は面積)を合計して算出したものを、志段味西・下志段味両学区に掲載

注6：緑区熊の前学区は、平成20年4月1日に神の倉学区と徳重学区の一部から、天白区植田東学区は、平成21年4月1日に植田学区と植田南学区の一部から新設されたため、16、17、29～35の指標は分割前の各学区の按分値を掲載